

育ネットつなん

津南町教育委員会

育ネットつなん事務局

津南中学校の「キャリア教育」

津南町立津南中学校 校長 関谷 郷志

当校のキャリア教育は、「総合的な学習の時間」を中心として、『自分の生き方や地域とのかかわりの中に課題を見つけ、探究的な学習を通して課題解決する力や表現する力を身に付けるとともに、人々に関わる協働的な学びの中で自己を見つめ、将来の生き方について主体的に考えることができる。』を目標に掲げ、「地域と関わり、自己の生き方を考える」をテーマに、学年ごとに体験活動を通して“自分を見つめること”を繰り返しながら進めています。

1年生では、「身近な人に聞いたり、地域の方との交流や調査活動を通して、様々な人々の生きる姿に触れたりすることで、自己の考えを広げること」をねらい取り組んでいます。地域調べでは11月に発表会を行い、自分の調べたことだけでなく、他の人の発表の中からの学びも大切にしています。10月に十日町市で行われた「まちの産業発見塾」に参加し、町内にはない企業の話聞く機会もあり、多くの学びがあります。

「地域を知る:自己を広げる」

『地域調べ・職業調べ』

1年生



「地域と関わる:自己を深める」

『職場体験学習・修学旅行学習』

2年生



3年生では、「自分の今までを振り返り、見出した夢から将来の『生き方』を考え、社会に貢献する自分を思い描くことができる」ことをねらいに取り組んでいます。町の現状や取組について調べ、貢献活動を企画実践する中で、社会の一員としての生き方や、将来の自分自身の生き方について考える時間です。さらに、高等学校体験入学や上級学校（大学・専門学校）訪問を行い、将来の自分がより具体的にイメージできるように進めています。

2年生では、「調査・体験活動を通して、自己の『生き方』に対する考えを深める」ことをねらいに取り組んでいます。①地域の産業や職種等を調べる、②仕事に関わる人から職について詳しく話を聞く、③3日間の職場体験、④まとめ・発表する、を流れとしています。地域の皆さんにお世話になりながら、「仕事」について生徒が肌身で感じてくることができ、毎年充実した3日間を過ごしています。学年の後半は修学旅行に向けた調べ学習を行います。津南との比較をしながら視野を広げていきます。

「地域に貢献する:地域貢献」

『地域貢献活動・上級学校調べ』

3年生



3年間で心も体も大きく成長する中学生。試験をして数字で結果が示される類いのものではありませんが、生徒一人一人のレポートや発表を見聞きすると、一人一人の成長をととも感じることができます。近年は、作成したレポート等を綴ったもの（キャリアパスポートという）を中学校から進学先へ送り、中高連携で教育効果をさらに高めるような全県の取組となっています。

もし、私がこのような教育を受けていたら、違った道が待っていたのかも・・・

令和4年度「育ネットつなぐ共通実践事項」 町内各保育園の取組についての中間報告

※ 6月の育ネット全体会で「各園のおもな取組」を決め、12月に「中間達成状況の報告」を推進委員会で行っています。

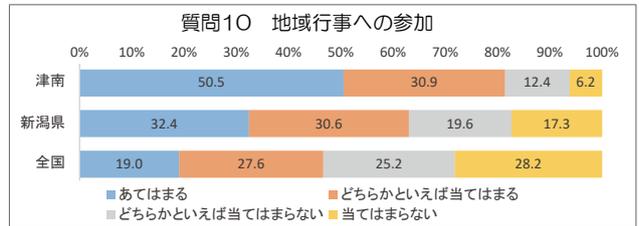
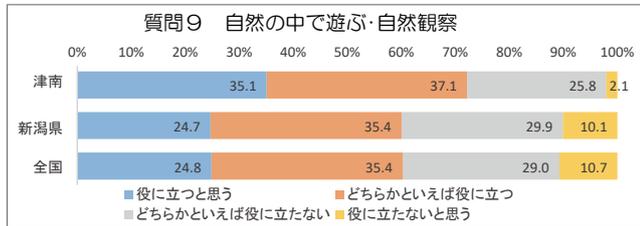
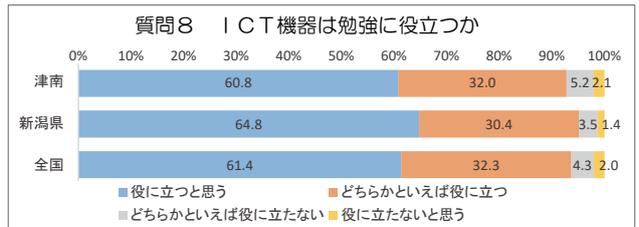
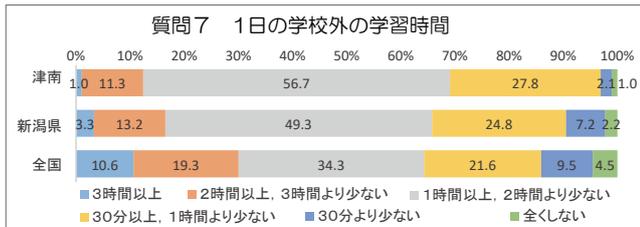
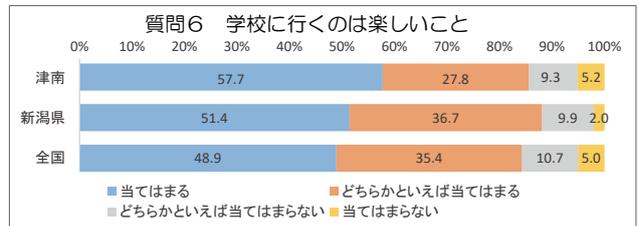
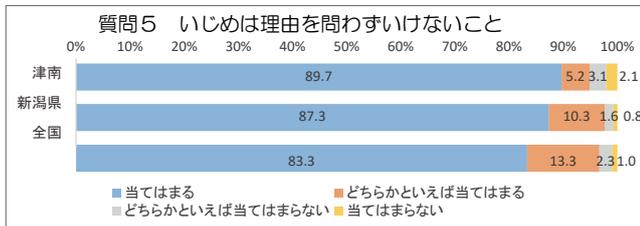
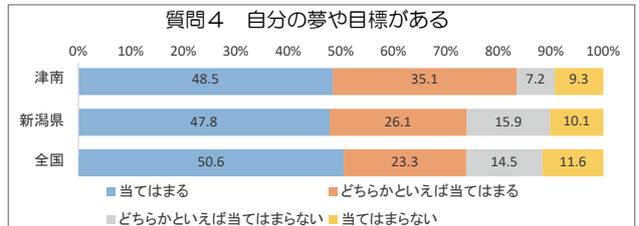
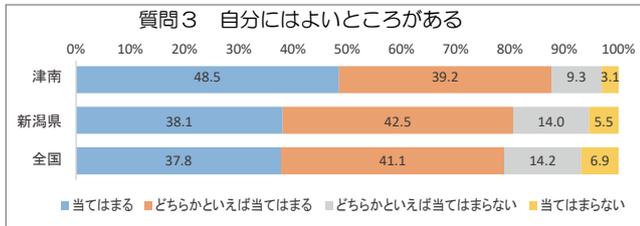
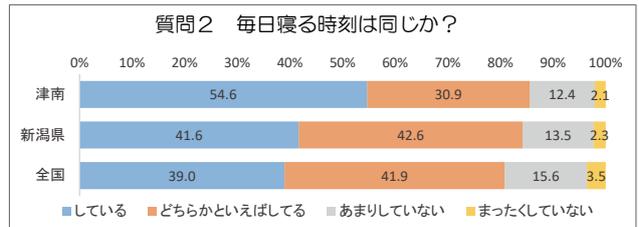
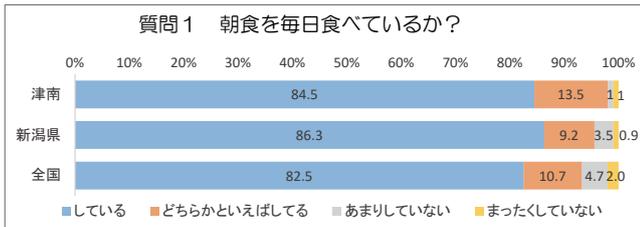
保育園部会

共通実践事項と達成目標	令和4年度 各園のおもな取組	各園の達成状況					
<p>I 早寝・早起き・朝ごはん運動を通して、子どもの心身の健康を守る。</p> <p>① 家族の会話を増やして「メディアコントロール」の習慣づくり</p> <p>◎全保育園達成度100% (子育て支援センター含)</p> <p>② 毎月19日「育の日」は、「食育」と「ノーマディア」に取り組む日</p> <p>◎全保育園達成度83.3% (子育て支援センター含)</p>	<p>④ 健康管理カードを記入してもらい、目標達成はシールで評価(スタンプ・動物シール・キラキラシール)し、視覚化することで意欲化を図る。</p> <p>⑤ 手作りご褒美で子どもの意欲を、年度末の感謝状で保護者の意欲継続を図る。</p> <p>⑥ ① ① 親子のふれあいタイムづくりにポイントを置き、父母の会図書の持ち帰りや親子遊びの情報を便りで紹介し、読み聞かせやふれあいの機会とする。</p> <p>⑦ ② 「おすすめレシピ」をお便りで紹介する。毎月19日にノーマディアカードを持ち帰り、家族に周知する。(コースを選んで挑戦し・達成したらご褒美シールやキーホルダーを与える。)</p> <p>⑧ ノーマディアデーにTVに立てかけるカードとメディアカードを持ち帰らせ意識を啓発する。</p> <p>⑨ ③ 「早寝・早起き・朝ごはん」カードに記入してもらい(9:30就寝 6:30起床)毎日達成(土日のぞく)したら、ご褒美のキーホルダー、シールを月末に与える。ノーマディアの取組では「スーパーコース」「チャレンジコース」で19日以外の取り組みも勧める。</p> <p>⑩ ④ ① 畑で野菜を育てたり、日々の食事の時間に食べ物についての紙芝居やお話を取り入れたりして興味関心を高め、食事の場面や創作活動で意識できるように支援していく。</p> <p>⑪ 「絵本タイム」「朝ごはん」を健康観察表に含み促進する。</p>	 <p>わかば I-①</p>	 <p>上郷 I-①</p>	 <p>こぼと I-②</p>	 <p>北部 I-①</p>		
<p>II あいさつ運動の推進(毎月10日は「あいさつの日」)</p> <p>① 町ぐるみのあいさつ運動の展開のため、組織間で連携活動を継続する。</p> <p>◎全保育園達成度83.3% (子育て支援センター含)</p> <p>② 校・園の「あいさつ運動」を紹介するとともに、家族や大人が率先して挨拶を行う。</p> <p>◎全保育園達成度83.3% (子育て支援センター含)</p>	<p>⑫ 年長児を中心に「あいさつチャンピオン」や「あいさつ隊長」「あいさつ当番」を設定し、あいさつに取り組ませて自発的なあいさつ習慣形成の意識啓発の契機とする。</p> <p>⑬ 園内・園外を問わず、職員・保護者が自身のあいさつする姿やパペットなどでモデルを示し、あいさつのよさを実感させる。</p> <p>⑭ 便りなどで広報無線日の紹介やあいさつ運動の取組を伝える。</p> <p>⑮ 玄関にのぼり旗を立てて意識化を図る。</p>  <p>子育て支援 C II-②</p>	 <p>こぼと II-①</p>	 <p>わかば II-①</p>	 <p>上郷 II-①</p>	 <p>北部 II-①</p>		
<p>III 郷土に誇りをもち、家庭や地域のために行動する意欲の一層の向上を図る。</p> <p>① 家庭や地域の一員として 役割を果たす子どもの育成を目指し、学校・家庭・地域の連携を進める。</p> <p>◎全保育園達成度83.3% (子育て支援センター含)</p> <p>② 郷土愛を軸としたキャリア教育と苗場山麓ジオパーク関連活動をつなぐ取組を工夫する。</p> <p>◎全保育園達成度100% (子育て支援センター含)</p>	<p>⑯ 手伝いを家族のふれあいとして設定し、ノーマディアデーに取り組みさせる。また、お便りや懇談会で各家庭の取組内容を紹介する。</p> <p>⑰ ④ ① 保育者自身がガイドブックを活用し、身の回りの自然、植物、生き物などに関心をもち、園児と発見した喜びを共有したり、自然の不思議を伝え合ったりする。</p> <p>⑱ ② ジオスポットの写真、小学生製作のジオかるたを活用し、遊びながら関心を高め、実際の園外活動での自然体験に繋げる。</p> <p>⑲ ④ 今年の園のテーマ「冒険」にちなみ、ジオパーク巡りや津南町の各地域へ出かける。</p> <p>⑳ ① ① 津南の自然環境を体験させ、様々な地域の方々とのおいさつを通じて絆を深め、郷土を愛する心情を高めるために、年長児を中心にジオスポットを巡り、自らの住む町を知らせる。</p> <p>㉑ クラスだよりや懇談会で、「自然をみて、触れて、感じる」姿を保護者に発信する。</p>	 <p>わかば III-②</p>	 <p>こぼと III-②</p>	 <p>子育て支援 C III-②</p>	 <p>上郷 III-②</p>	 <p>北部 III-②</p>	 <p>ひまわり III-②</p>



新型コロナウイルス感染症に関わる対応により、今年度も学校行事やイベント、授業や校外学習等で制限されることもありましたが、各学校は工夫しながら新しい学習スタイルや効果的な活動を展開していました。昨年度は5月に実施した全国学力・学習状況調査（小学校6年生と中学校3年生が対象）も、今年度は例年通り4月に実施され、各自の学習の成果や日常生活について確認することができました。3年に1度の理科も加わり、調査は学力状況（小学6年生は国語・算数・理科、中学3年生は国語、数学、理科）及び日常の学習状況を中心とした質問紙（アンケート）を実施しました。

学習面では、小学生も中学生も全国と同等の結果でした。質問紙では、昨年度の結果と比較したとき、質問1～質問6までの肯定的回答はすべて数値が上昇していました。中でも、質問2「毎日寝る時刻は同じ」で15%、質問3「自分にはよいところがある」で16.6%、質問6「学校に行くのは楽しい」で8.3%前年度を上回りました。各ご家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」の取組がしっかりと定着していること、各校での分かる授業と学ぶ喜びに満ちた学校経営の成果が表れた良好な状況を示しています。しかし、毎年課題として取り上げられている家庭学習（平日の学習時間）に関する質問7においては、昨年度に比べ、平日2時間以上の学習に取り組む児童生徒が9.6%減少しています。質問8の結果も踏まえながら、個別端末機を活用した有効な家庭学習のあり方についてもAIドリルの導入等により、個別の習熟度に合わせた、一人一人に充実感と達成感のある学びの機会を提供できるように進めてまいります。



☆輝く発想力と創造性 ～令和4年度 新潟県発明工夫展・新潟県模型展～

夏休み期間中に子ども達が創造力を働かせて作り上げた作品が県のコンクールで優秀な成績を収めました。

【新潟県発明工夫模型展】

- ☆学校賞 新潟県知事賞 津南小学校
- 公益社団法人発明協会会長奨励賞 津南小5年 山本理翔さん
- 毎日新聞新潟支局長賞 津南小5年 篠原里沙さん
- NHK新潟放送局長賞 津南小4年 丸山大璃さん
- F Mラジオ新潟賞 津南小2年 山本萌絵さん

【新潟県模型展】

- ☆新潟県知事賞 芦ヶ崎小6年 鈴木愛琉さん
- 「名水守護龍」

